

地域の「安全・安心」「環境」「活力」を支える 道路整備が必要です。



国道 155 号豊田南バイパス(美山町～東新町)
(平成 25 年度供用予定)



シラタマホシクサ(国絶滅危惧Ⅱ類)



ミカワシオガマ(国絶滅危惧ⅠB類)

東海丘陵湧水湿地群
ラムサール条約湿地に登録
(平成 24 年 7 月 3 日)



豊田・岡崎地区研究開発施設完成予想図
(事業区域東側)
平成 20 年代後半 一部施設建設工事着手予定

平成24年10月

豊田市幹線道路整備促進協議会

東日本大震災は、大規模災害等に対する備えが必要であることを改めて強く認識させる契機となりました。中部地方においても、近い将来、東海・東南海・南海地震等の発生が懸念されており、これまで以上に防災対策、減災対策への取組みが急務となっています。このような中、道路は、災害時における避難路・物資等の輸送路として、また産業活動・市民活動における交通の要として、これまでも増して重要な社会基盤といえます。

一方、当市は、東海地方で唯一「環境モデル都市」として国から選定され、「くるまのまち豊田市」が低炭素社会を実現し、環境にやさしく活力ある都市として今後も持続的に発展していくため、環状・放射道路を中心とした利便性の高い道路ネットワークの構築が必要です。

また、災害時や救急救命活動時の物資や人の搬送等を支える道路、競争力強化を図る産業拠点へのアクセス道路、観光振興や日常の安全・安心を確保する交通安全対策、渋滞対策など、道路交通環境の整備が急務となっています。

しかしながら、当市の道路の現状は、一般国道を始めとする幹線道路の整備率は約60%と県下平均67%に比べ低い状況であり、今後も地方が真に必要なとする道路整備が計画的に実施できるよう以下の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

1 道路整備に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、地方が真に必要なとする国道、県道、市道のいずれもが着実に整備されるよう、必要な予算を確保すること

2 災害に強く、産業・経済活動を支え、暮らしの安全・安心を確保する道路整備を計画的かつ着実に推進すること

○環境にやさしく都市機能を高める主要幹線道路ネットワークの整備

○競争力強化に向けた新たな産業拠点を支える道路整備

○安全・安心と広域的な輸送を支える道路整備

環境にやさしく都市機能をもつめる主要幹線道路ネットワークの整備

環境にやさしく活力ある都市として今後も持続的に発展していくため、既存高速道路ネットワークを有効活用した産業拠点の拡大や住宅開発など、新たな市街地の誘導を促進し、災害時や救急救命時の活動を支える環状・放射道路を中心とした利便性の高い道路ネットワークの構築が必要です。



[主要事業]

- 国道153号豊田北バイパス
・逢妻町～扶桑町
- 国道155号豊田南バイパス
・美山町～逢妻町
- 国道153号豊田西バイパス
・西新町～東新町

- (仮) 豊田西部線
・都市計画準備中

- (都) 水源橋線
(社会資本整備総合交付金)
・曙町～寿町 街路改良

- 市道(仮)豊田刈谷線
・本田町～西岡町 道路新設

- 一般県道宮上知立線 ((都)豊田刈谷線)
・西岡町～中田町 道路新設

- 国道419号
・上原町～西中山町 4車線化

- 国道419号
(社会資本整備総合交付金)
・陣中町～上原町 4車線化

- 国道153号
・久保町～陣中町 4車線化

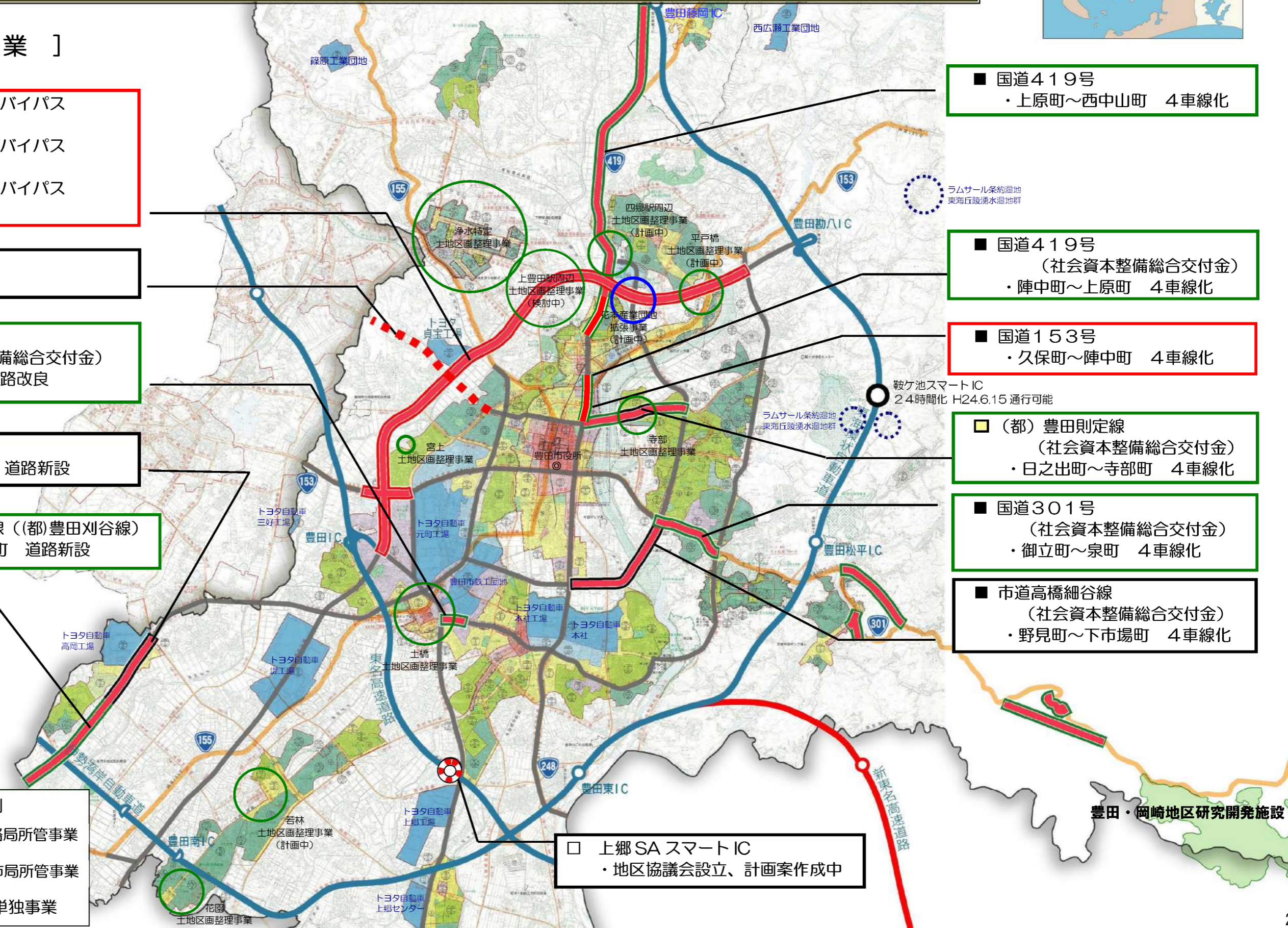
- (都) 豊田則定線
(社会資本整備総合交付金)
・日之出町～寺部町 4車線化

- 国道301号
(社会資本整備総合交付金)
・御立町～泉町 4車線化

- 市道高橋細谷線
(社会資本整備総合交付金)
・野見町～下市場町 4車線化

- | 凡 例 | |
|-------|-----------|
| ■ 国事業 | ■ 道路局所管事業 |
| ■ 県事業 | ■ 都市局所管事業 |
| ■ 市事業 | □ 市単独事業 |

- 上郷SAスマートIC
・地区協議会設立、計画案作成中



豊田・岡崎地区研究開発施設

競争力強化に向けた新たな産業拠点を支える道路整備

国際競争力・都市間競争力の強化に向け、更なる産業の活性化を図る新たな産業拠点へのアクセス道路の整備が必要です。

[主要事業]

豊田・岡崎地区研究開発施設へのアクセス道路整備

- 現在、下山地区で進められている豊田岡崎地区研究開発施設事業は、豊田市にとって更なるモノづくり中核都市として維持・発展するために、重要な事業
- 施設への**主要なアクセス道路となる国道301号の整備は最優先しなければならない事業**
- 大型車の通行の支障となる九久平交差点、根引峠の道路整備が急務



- 国道301号の整備
 - ・野見山拡幅
 - ・九久平交差点改良
 - ・根引峠現道改良
 - ・鶴ヶ瀬バイパス
 - ・根引峠バイパス



完成予想図（事業区域西側）



完成予想図（事業区域東側）

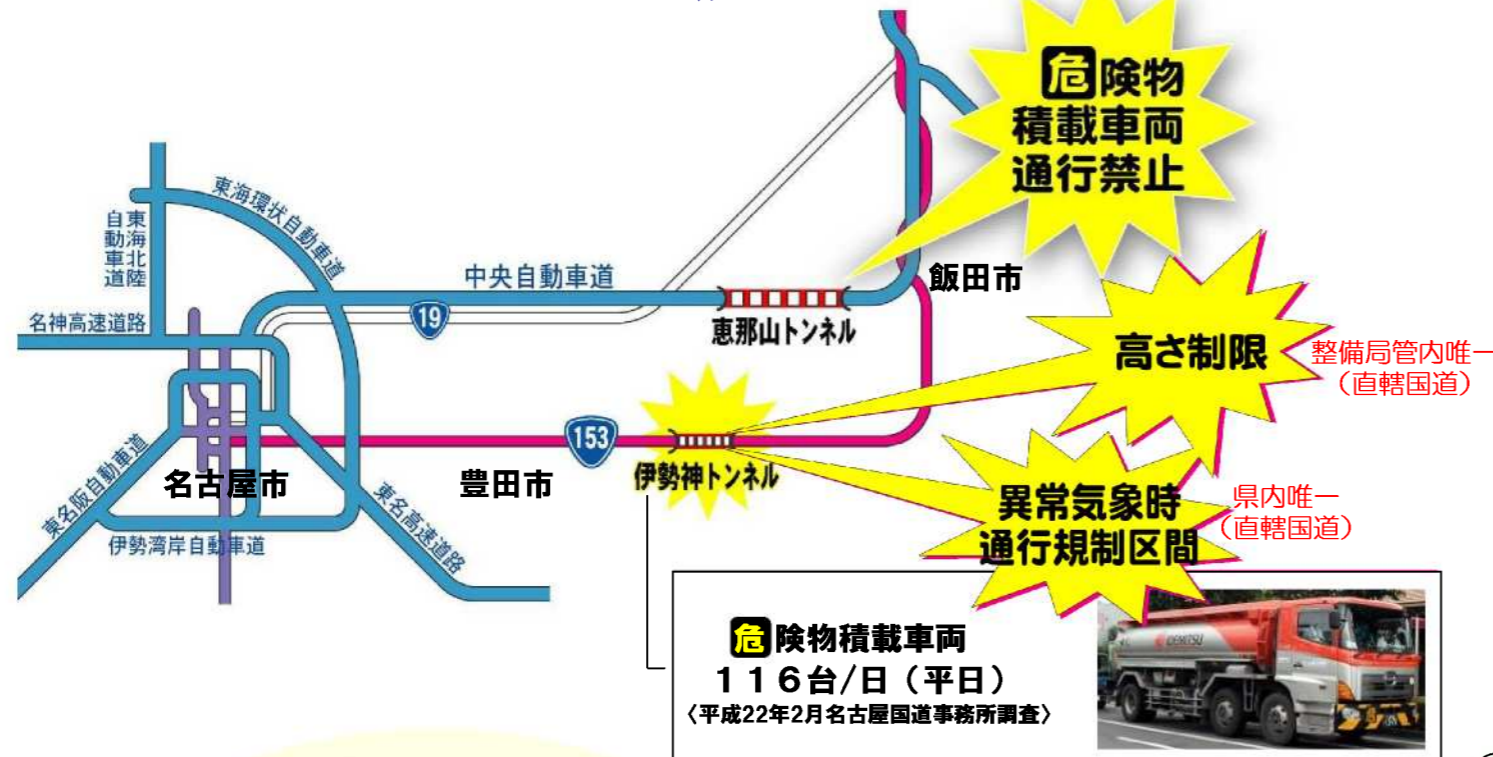
豊田・岡崎地区研究開発施設
事業面積 650.8ha
人員計画 3,850人
平成24年11月頃 造成工事着手予定
平成20年代後半 一部施設建設工事着手予定

安全・安心と広域的な輸送を支える道路整備

広域的な危険物輸送、地域間における災害時や救急救命活動時の物資や人の搬送等を支えるため、ボトルネックの早期解消が必要です。

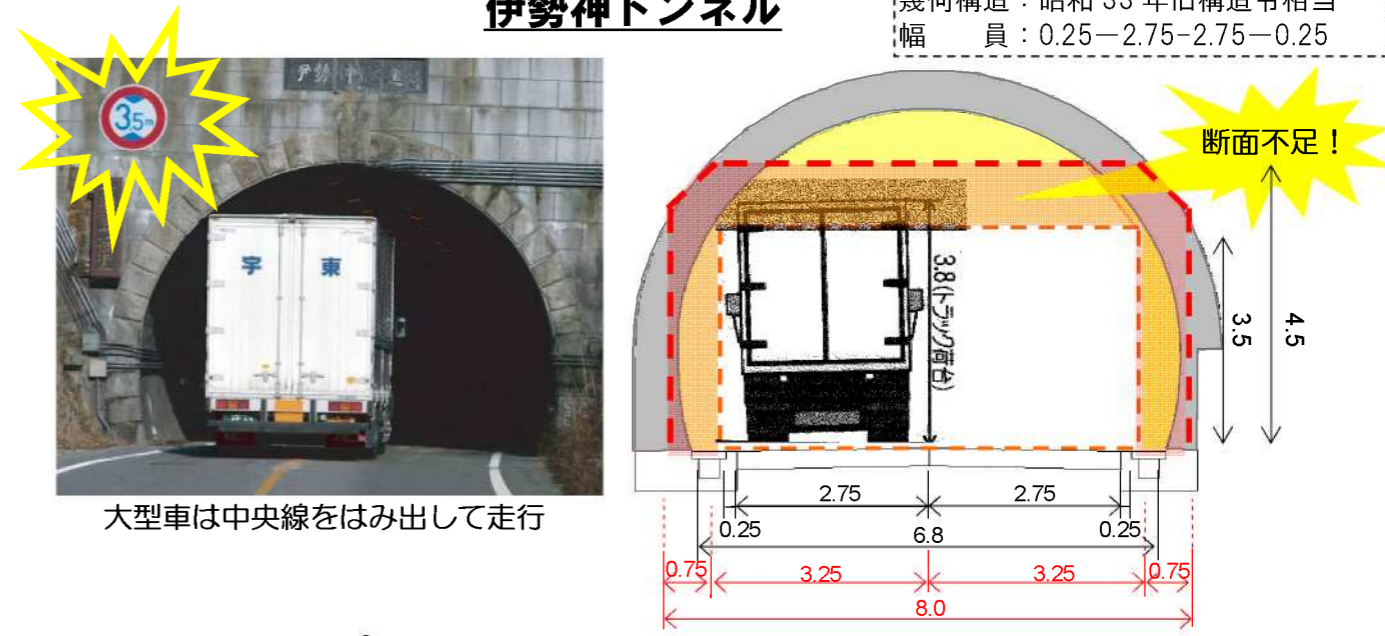
国道153号伊勢神改良 ～狭隘トンネルと雨量規制区間の早期解消～ (平成24年度新規事業化)

国道153号は、名古屋-飯田間の危険物輸送における唯一のルート！ 広域交流を支える重要ルート！



中部地方整備局管内の直轄国道で
唯一の高さ制限(H=3.5m)が存在！

伊勢神トンネル

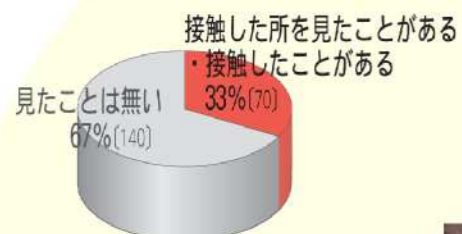


【概要】

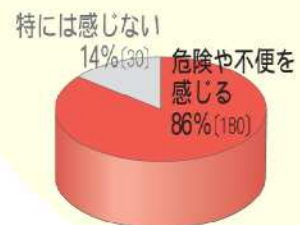
完成	昭和35年7月(旧JH施行)
延長	1,245m
車線数	2車線
幾何構造	昭和33年旧構造令相当
幅員	0.25-2.75-2.75-0.25

トラック・バス ドライバーへのアンケート結果

利用者の約3割が
トンネル内壁への接触に遭遇！

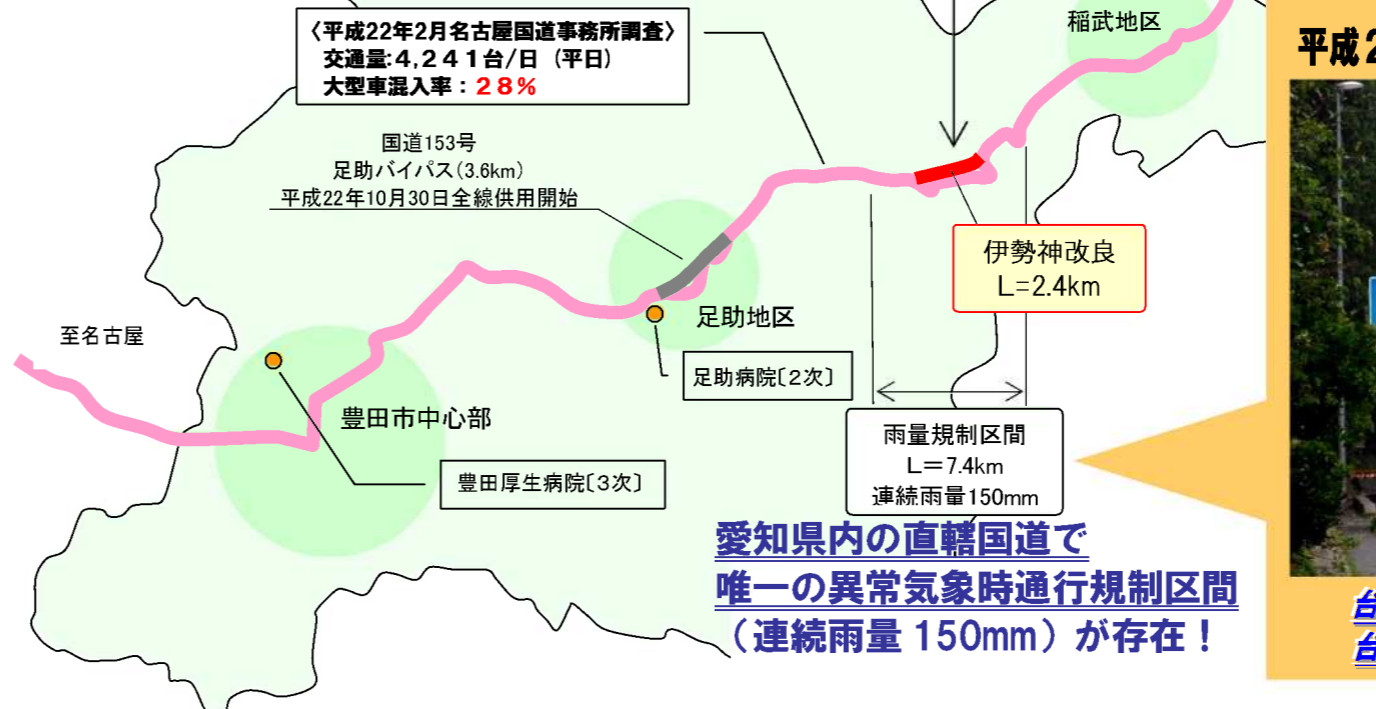


利用者の約9割が
危険・不便を感じている！



トンネル内壁への接触

国道153号は、稲武地区から豊田厚生病院(3次救急医療施設)への重要な搬送ルート！



平成23年度 大型台風により2回の通行止め！



台風6号(7月)により約20時間の通行止め！
台風15号(9月)により約6時間の通行止め！

市民の安全・安心を確保する道路整備

市民の日常の暮らしを支え、安全・安心を確保するため、交通安全・渋滞対策など、道路交通環境の整備が必要です。

[主要事業]

交通安全対策・渋滞対策

○通学路における歩道整備や渋滞・事故の主な原因となっている交差点の改良などの交通安全対策・渋滞対策が必要

■国道419号の整備

- ・北篠平町 歩道設置
- ・迫八反田交差点改良
- ・藤岡飯野町交差点改良



歩道が無く危険な子供達
(国道419号：北篠平町)



右折レーンの無い事故多発交差点
(国道419号：迫八反田交差点)

最大
渋滞長 約1400m
通過時間
最大 約11分



朝夕の交通集中による渋滞
(国道419号：藤岡飯野町交差点)

観光振興を支える道路整備

地域間の連携と交流を促進し、観光産業の発展を図る道路ネットワークの整備が必要です。

[主要事業]

観光資源の連携強化を図る道路整備

○中山間地域の豊かな自然、歴史、文化等、豊富な観光資源を活かした、観光資源の連携強化を図る道路整備が必要

- 国道420号バイパスの整備
- 主要地方道足助下山線の整備
- 国道153号伊勢神改良



国道153号沿線地域を

「日本風景街道・新しさからなつかしさ塩の道～中馬街道～」
として登録(平成19年11月登録)



至 名古屋
豊田市街地



足助の歴史的町並み
(豊田市足助伝統的建造物群保存地区)



紅葉時の香嵐渓
(平成23年度の年間来訪者数約100万人)

